

2015 年 6 月 4 日経営会議の概要

日時	：2015年6月4日（木）	午前9時～午前10時30分
会場	：政策会議室	
委員・幹事・関係者	：市長、高橋副市長、有金副市長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、文化スポーツ振興部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長、文化振興課長、文化振興課担当課長、国際版画美術館副館長	
説明	：議題1 都市づくり部長、公園緑地課長、公園緑地課公園管理担当課長 議題2 都市づくり部長、都市整備担当部長、都市政策課長	

議題1：芹ヶ谷公園再整備基本計画（素案）の策定について（都市づくり部）

【付議の目的】

○芹ヶ谷公園再整備基本計画策定に伴う市民意見の募集にあたって、素案の承認を受ける。

【提案の概要】

芹ヶ谷公園は中心市街地に隣接しており、地域に住む方々はもちろん、町田駅を訪れた方々も気軽に寄れる公園になっている。また、街中にありながらも、保全された谷戸地形が静かな空間を創出し、園内では四季折々の景観を楽しむことができる。さらに、園内には国際版画美術館があり、点在する彫刻とともに芸術を感じられる空間となっている。

芹ヶ谷公園では、今後、（仮称）国際工芸美術館の建設が予定されており、また、「町田駅周辺まちづくり」を市の重点施策として掲げている中、これらと一体となって芹ヶ谷公園の魅力を一層向上させ、新たな賑わいを創出することが求められている。

そこで、芹ヶ谷公園再整備基本計画を策定し、芹ヶ谷公園及び公園予定地について一体的な再整備を行い活用することで、公園全体で「芸術の杜」と呼べる空間を演出し、「ヒト・モノ・文化が交流するまち」の公園として生まれ変わることを目指す。

再整備のテーマは「まちなかで 人と緑が 出会い ふれあう 芸術の杜」とし、再整備方針として、「町田駅周辺の回遊性、賑わいを創出する場にします」、「文化芸術を発信する場にします」、「人々が集い憩う場にします」、「遊び学べる場にします」、「何度でも訪れたいくなる場にします」、「中心市街地の防災力を支える場にします」の6点を掲げる。

【主な意見】

○芹ヶ谷公園へのアクセスルートについて、検討すること。

○指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題2：南町田駅周辺地区拠点整備基本方針の策定について（都市づくり部）

【付議の目的】 南町田駅周辺地区拠点整備基本方針について承認を受ける。

【提案の概要】

都市計画マスタープランで副次核に位置づけた南町田駅周辺地区では、国道16号立体化事業、北口駅前広場などの基盤整備、南町田駅の準急停車化など、主要な道路・交通基盤の整備改善が進捗している。一方で、副次核の主たる構成要素であるグランベリーモールは、当初、10年程度を想定して暫定的に整備されたものであり、開業後15年が経過し、副次核の活性化に資する商業集積をめざした再整備を図る時期を迎えている。

今後、地域一帯の中心核におけるコンパクトな機能集積と利便性向上を図り、地域にとってのさらなる魅力付けを行うことで、居住人口の維持、来訪者数の増加を目指すため、南町田駅周辺地区拠点整備基本方針を策定する。本方針では、にぎわい・交流の充実、歩行者ネットワークの形成に向けた拠点整備の考え方を取りまとめるとともに、東京急行電鉄（株）と協働した拠点整備の取組を展開する。

また、方針の目標を「住みたい、訪れたい、活動したい まちの実現 ー新たな郊外の魅力発信」とし、拠点整備の方向性として、「鶴間公園と商業地を中心として、にぎわいと交流を促進」、「南町田駅周辺を結ぶ歩行者ネットワークの形成により、まちの利便性を向上」、「地域の住み替えサイクルの実現に向けて、バリエーションのある住環境を創出」を掲げ、鶴間公園の再整備、南北自由通路の整備、ライフステージ・ライフスタイルの変化に対応できる多様な住宅ストックの集積等の取組を示す。

【主な意見】

○指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。